

活動目標

地域活動の充実
子ども会活動への支援
専門部会活動の充実



第43号平成24年3月15日
編集
大和市青少年指導員連絡協議会
広報部会
編集責任者 鈴木勝雄
発行 大和市教育委員会
TEL 046-260-5224
FAX 046-261-4900

みんな笑顔で楽しんだ 青少年センターまつり

平成23年12月4日(日)に、第16回青少年センターまつりが開催されました。今回のキャッチフレーズは、「楽しもうぜ!ここは日本だけ!青少年センターまつりだけ!!」です。今年は、ステージ発表が9団体、ブース発表は3団体あり、日頃の成果を発表しました。また、中学生ボランティア85名は模擬店(焼きそば、焼き鳥、チョコバナナ、タピオカジュース)やゲームコーナー(お化け屋敷、宝さがし、的入れ)の企画・運営をするほか、キャッチフレーズを考えたり、センター内の飾り付けをしてくれたりしました。来館者は826名で、お化け屋敷は長い行列ができるほどの人気でした。いろいろな方々の協力で、心つながる笑顔・笑顔の青少年センターまつりでした。

館内イベント案内

- 1F ステージ発表・ショー
 - ・空手型演武、組み手試合
 - ・チアガール・ソーラン節・新体操
 - ・手品・バトントワリング
 - ・ダンス・愛の一声チアダンス
- 2F お化け屋敷・宝さがし・的入れ
 - ・手作りからくりおもちゃ・組み紐
 - ・ストラップと折り紙
- 3F ワンダーゲット・魚釣り・おはなし会
 - ・ペットボトルボーリング・プラバン工作
- 模擬店・焼きそば・タピオカジュース
 - ・焼き鳥・チョコバナナ・フランクフルト
 - ・おにぎり・だんご・ホットココロ



沢山売れたし、買う人も笑顔でよかった 完売です!!



愛の一声チアダンス、がんばって踊りました!

ボランティアに参加した中学生の声

- ・忙しかったけど、とても楽しかった。
- ・来年もまたやりたいです! ・自分たちもお客さんも楽しめたからよかった。

わかくさクイズ

※答えは()の中から選んでください。

- ① 12月4日(日)の青少年センターまつりの来館者は何名でしたか? 答(628名・826名・843名)
- ② 11月27日(日)の一日研修で作った食べ物は何でしょうか? 答(パン・ナン・うどん)
- ③ 大和市イベントキャラクターの名前は何でしょうか? 答(ヤマトン・ヤマザクラ・のぎく)

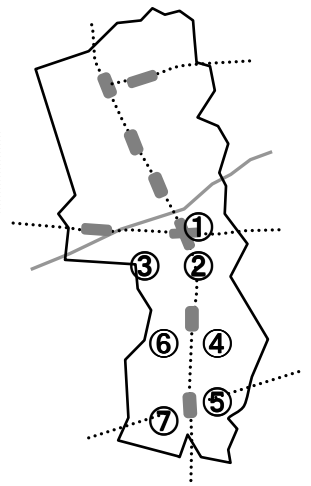
- クイズの答え、わかくさの感想、氏名、住所、年齢を書いてはがき又はFAXで送って下さい。
- 正解者の中から抽選で40名様に図書カードを進呈します。

〒242-0021 大和市中央1-5-14 こども・青少年課 FAX: 046-261-4900 《※切4/15》

大和市青少年指導員の地区活動紹介

41号の市北部地区紹介に引き続き、今回は市中央・南部地区の活動を紹介します。

地図上の①から⑦が今回紹介する7地区です。



①大和地区・②深見地区

私たち大和・深見地区青少年指導員が一番大切にしていることは、子どもたちとの出会いの場であり、ふれあう時間です。特に毎年度夏休みに実施している「わんぱく遊び体験」では、子どもたちと一緒にナンとキーマカレーを手づくりしたり、大和ユースクラブのメンバーと楽しくキャンドルファイヤーをします。このように大和地区と深見地区合同で事業や地域行事を実施することが多く、地区会議も仲良く一緒に行っています。



ナンづくりをしている様子



キャンドルファイヤーの様子

③中央地区

中央地区では、年間をとおり地域の各団体と協力して子どもたちと親子がふれあう行事を行っています。まず5月にふれあい体験➡6月少年少女スポーツレクリエーション大会練習協力・7月大会開催➡9月敬老の集い➡11月中央地区ふれあい広場・コミセンまつり等を柱に地域の子もたちや自治会と共に楽しい活動をしています。また、8月には上福田地区主催の柳橋地区キャンプに協力しました。中央地区ふれあい広場では、多くの団体の協力を得てスタンプラリーを行い250組の参加でにぎわいました。かわいい子どもたちの演技を紹介します。



おいしくなーれ ♡



かわいい演技に会場メロメロです♡♡

④桜ヶ丘地区

『桜ヶ丘地区』は桜ヶ丘駅周辺の西は小田急線と、東は境川(横浜市)とに挟まれた大和市南東部に位置し、桜ヶ丘、親和会、宮久保、谷戸頭、久田、百合ヶ丘、上ノ町、相鉄コープ、相鉄第一、相鉄第三、相鉄第四の11自治会より構成され、選出された8名で活動をしています。桜ヶ丘地区の担当校区は桜丘小学校と上和田中学校の各1校が対象で、またコミュニティセンターも桜丘コミセンのみです。行事としては、3月に『うどんづくり』(毎回大好評)、10月に『ふれあい広場』を主催し、地域の体育祭、コミセン祭り、クリスマス会、地域祭と多忙です。

地区名の由来は『桜株』という地名から出ていますが、その名のとおり藤沢町田線沿いは桜の名所と知られています。また、境川に平行して『久田(くでん)緑地』が幅10数m、長さ1km程で広がり、多様な動植物が生息、生育している自然豊かな地区です。地区を横断する

『県道丸子中山茅ヶ崎線(中原街道)』は、渋滞解消の拡幅問題で大揺れですが、晴れた日には富士山がくっきりと見える風光明媚な自慢の地区です。



地区恒例行事 うどん作り みんなで粉をこねてまーす



ふれあい広場の青指コーナー (サークルありんこ/上中ボランティア)

⑤高座渋谷地区

高座渋谷地区で恒例となっている行事を紹介します。8月7日(日)午前を下和田コミセン、午後を上和田コミセンで夏休みお楽しみ会を行いました。今回は、無地の扇子に自分の好きな絵や柄を書き、自分だけの扇子をつくりました。どの子どもとも上手に描けていて嬉しそうでした。その後、ピザを作りました。ピザの生地を自分で丸く伸ばし、トッピングをして青少年指導員手作りのダンボール釜で焼きました。おいしそうにきれいに焼けていて、みんなお腹いっぱい食べていました。帰りには、おみやげを受け取り終了しました。手作りの扇子をあおぎながら喜んで帰って行きました。次回も楽しいお楽しみ会が出来るように色々と考え、青少年指導員全員で頑張りたいと思います。



ダンボール釜でピザを焼いています



⑥上福田地区

年間活動の中で大きな割合を占める『わくわくっ子』『夏のキャンプ』を紹介します。

『わくわくっ子』は「子どもたちに遊びながら学んでもらおう」をモットーに、原則月の第一土曜日に柳蔭児童館共催で行います。今すぐでなくとも、いつか子どもたちの成長の礎になってくれるものをと、取り組んでいます。子どもたちの真剣な顔や笑顔が「継続の力」をもたらしてくれます。『夏のキャンプ』は、100名前後の小学生が学校の施設で一泊キャンプを経験します。2011年は東日本大震災をうけてデイキャンプとしましたが、カマド作りからカレーの調理など、ほとんど子どもたち自らの手で行うので、たった2日間の中でも、子どもたちの顔つきに確かな成長と自信を感じ取れることが醍醐味です。



『夏のキャンプ』
カマドでカレー調理中



『わくわくっ子』の様子

⑦下福田地区

素足で遊べるような広い場所で「心おきなく子どもたちとふれあえる」ふれあい広場にしたいという発想から「ゆとりの森芝生グラウンド」に会場を変更して2回目の“渋谷西地区ふれあい広場”を開催することができました。芝生グラウンドなので少々の風が吹いても砂ぼこりが立ちませんし、広い場所が使えます。食べ物一切グラウンド内では禁止との制約がありましたが、芝生内で思い切り遊べるという方を重視しました。今回、他の行事が重なり入場者数の不安がありました。550名とよく集まったと思います。今年もこの場所で開催する事が決定しています。雨除け対策等も考え、更に内容を充実していきたいです。



広い芝生でのびのびと

ヤマトンがフリスビーに挑戦

おめでとうございます

第39回大和市青少年健全育成大会が平成23年11月26日(土)保健福祉センターで開催されました。「青少年育成活動推進者」として表彰された青少年指導員は次の4名の方々です。

- | | |
|--------|--------------|
| 笠間 泰雄 | (中央林間) |
| 古屋 佳紀 | (南林間) |
| 高橋 斗志江 | (大和) |
| 大庭 栄子 | (高座渋谷) (敬称略) |



駅伝競走大会に出場

平成24年1月8日(日)大和スポーツセンターを発着点とする第54回大和市駅伝競走大会に青少年指導員有志チームが出場しました。「青少年指導員の名前を知ってもらうきっかけになれば」と駅伝に出場をはじめ、今回で5度目の完走となりました。来年もタスキをつないでほしいと願っています。

(成績: 45位/58チーム)

【出場メンバー】

- | | | |
|----|-------|-------------|
| 監督 | 茂木 雅弥 | (上草柳) |
| 1区 | 太田 幸雄 | (下福田) |
| 2区 | 久保 昭仁 | (下福田) |
| 3区 | 作田 征幸 | (下福田) |
| 4区 | 平田 一郎 | (上福田) |
| 5区 | 高梨 啓 | (桜ヶ丘) (敬称略) |



【災害時、学校と地域の対策】 ～子どもをどうまもるか～

平成23年10月31日(月)柳橋地区地域サポート交流会に参加し、大和市危機管理課土田課長の講義を聞いてきましたのでお知らせします。

大和市で30年以内で起こると想定される地震は、次の表のとおりです。

	東海地震	神奈川県東部地震 (首都直下地震)	かん ^{かな} な ^な わ ^わ こ ^{こう} う ^う づ ^づ 神 ^{かん} 縄 ^{なわ} ・国 ^こ 府 ^う 津 ^づ ー松 ^{しょう} 田 ^た 断 ^{だん} 層 ^{じょう} 帯 ^{たい} 地震
マグニチュード	8 クラス	7 クラス	7.5 クラス
大和市予想震度	5 強	6 強	6 弱
30年以内で起こる最大確率	87% (*)	70%	16%
特 徴	唯一事前予知可能	南 ^{なん} 関 ^{かん} 東 ^{とう} 直 ^{ちく} 下 ^げ 型 ^{がた} 地震 の1モデル	県内の活断層の中では 発生の確率が一番高い

*平成24年3月15日現在、88%に変更。

☆登下校中に地震が起きたら☆

※安全な所で揺れがおさまるのを待つ・揺れがおさまったら移動
登校中⇒原則として学校へ行く(保護者は子どもの安全確認)
下校中⇒原則として家へ戻る(家に保護者がいない場合や学校の近くであれば
学校に戻っても可)



質疑で、今考えておかなければならない課題として

- 1 学校が避難場所になった時の対応
- 2 通学路の安全確保は?
- 3 自治会で作成した避難マニュアルを避難所で訓練しては

☆大和市の災害情報提供 ⇒ FMやまと(77.7MHz)・やまとPSメール・防災行政無線など。

平成23年3月11日(金)の震災で、大和市でも実際に電話(携帯電話も含む)がつながりにくく、家族と連絡が取りにくい事態になりました、日ごろから連絡・避難方法について家族で話し合ってくださいとのことでした。
※参考としてNTT災害伝言ダイヤル171の活用(災害用伝言ダイヤルは、地震、噴火などの災害の発生により被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。)

神奈川県青少年指導員大会

第44回神奈川県青少年指導員大会が平成23年11月20日(日)大和市生涯学習センターで開かれました。わたしたちにできること～みんなでそだてよう!未来を創る子どもたちを～というテーマのもとに、県内から約500名の参加者で盛大に開かれました。

中央林間一輪車クラブによるパフォーマンスで幕を開け、個人表彰では、大和市からは、酒井博行さん(南林間)と白井富也さん(高座渋谷)の2名に感謝状が贈呈されました。

厚木市・海老名市の青少年指導員活動報告に続いて、2010年南極マラソン250kmを完走した赤坂剛史氏による感動的な講演がありました。人との出会い、支援者への感謝、自然への畏敬、挑戦すること、そして、あきらめないこと、夢は叶うこと、元気のて話でした。

ロビーでは、県央地区7市町村の青少年指導員活動PRもあり、交流が図られたひと時でした。



ロビーの様子

後期一日研修

平成23年11月27日(日)泉の森キャンプ場にて青少年指導員の後期一日研修が開催されました。

年に2回、青少年指導員として必要な技術・実技を習得する為、研修部会が企画・運営し一日研修を行っています。

参加者46名はロープワークとパン作りを学びました。パン作りは発酵が難しかったり、黒こげにしてしまう方もいましたが、「おいしい。」「もっと食べたい。」と評判でした。ブルーシートやトラックの荷台を使ってのロープワークもあり、これからの地区活動にも生かされることと思います。



石にシートを結びつけてシート張り

竹の棒にパン生地をつけて焼いています